



# 七松小学校 学校だより

令和2年度

5月号

尼崎市立七松小学校

校長 江上佳宏

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

## 新型コロナウイルスの感染拡大防止による臨時休業延長についての対応

大型連休終わりの5月6日(水)までの新型コロナウイルスの感染拡大防止による緊急事態宣言に基づく、学校の臨時休業が31日(日)まで延長されました。4月当初、桜の花が咲きほころんだ校庭も、今では、葉桜となって、初夏を感じさせる時期を迎えました。一見いつもと変わらぬ七松小学校ですが、学校の主役である子どもたちの姿は、ほとんどありません。世間では、阪神・淡路大震災の時でさえ行われた春の選抜高等学校野球大会の中止、8月に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックが1年程度の延期となってしまいました。阪神間の商店街も自粛要請を受け、賑やかさがなくなり、ひっそりとしています。

このような状況の中、学校の主役である子どもたちがいない時に感じたのは、「当たり前前のごことに感謝すること」です。朝8時になれば、元気よく登校し、賑やかな声が聞こえてこそその学校です。何事にも言えることですが、当たり前前のごことがそうでなくなった時、そのありがたさに気づくものです。

7日(木)からの学校再開に向け、準備をしまいましたが、まだまだ、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための対応が続きます。4月～5月にかけて指導すべき教科・単元において、お子様一人で学習できるプリント・ワークシート及び生活習慣に関するプリントを作成し、活用いたします。ミマモルメ等でお知らせし、ポスティングさせていただきますのでご理解とご協力をお願いいたします。

臨時休業中、市の要請により午前中ですが、受け入れ児童の見守りを行っています。教室での子どもたちの様子を継続的に見ています。きちんと挨拶をし、一人ひとり、自己の課題を黙々とこなしています。

今、子どもたちは、この状況をどう捉えているのだろうと思い、子どもたちの気持ちを少し文章に書いてもらいました。一部抜粋して紹介いたします。

- コロナウイルスで、るすばんが多くなっています。
- 連休にコロナウイルスのせいで、ユニバに行けなくて悲しいです。
- テレビでコロナウイルスばかりでいや。
- マスクつけたくない！息が苦しい。暑い時でも外せない。
- コロナウイルスで公園やゆうえん地などであそべない毎日がつらいままです。
- 早くいつもの学校生活にもどりたい。少しでも新型コロナウイルスの感染者がへってきてほしい。テレビを見ていて、すごい広まっていますごくこわい。かかっているのが分からないからこわい。
- 早く学校の生活がもどってきてほしいです。なぜなら、じゅ業で勉強したいからです。1日の宿題はかんたんですが、このままならもっと宿題がふえて、かんたんには終わらない。学校のじゅ業だったら楽しく勉強できるので安心して勉強できる。
- 早く学校に行ってみんなと勉強したい。友だちに会いたい。先生と勉強したい。給食が食べたい。
- ストレスがたまったらすぐおこることもあります。習い事もなくなり、家でしています。
- 学校が早く始まって、みんなとたくさん勉強したいです。ずこう・せいかつ・おんがく・こくご・どうとく・さんすうがしたいです。